

安全で安心な鉄道であるために

車いす等をお使いのお客さまがご利用しやすい環境整備を進めます！

～プラットホームと車両乗降口の段差・隙間の縮小に着手しました～

東武鉄道株式会社

東武鉄道では、車いす等をお使いのお客さまがご利用しやすい環境整備として、プラットホームと車両乗降口の段差・隙間を縮小する工事に着手し、東武スカイツリーライン北越谷駅3番線ホーム、東上線池袋駅1番線ホーム、朝霞駅1番線ホームおよび川越駅2番線ホームに設置しました。

公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドラインに基づき、駅のプラットホームにおいて、「ホームの嵩上げ^{かさ}」および「くし状ゴムの設置」を実施し、プラットホームと車両乗降口の段差・隙間を縮小します。

また、縮小した箇所には、「プラットホームと車両乗降口の段差・隙間が縮小されている箇所」であることを示す案内掲示を足元およびホームドア等に掲出することで、より分かりやすいご案内をします。

1 実施計画

2021年度 東武スカイツリーライン：獨協大学前駅（1番線・2番線ホーム）

越谷駅（2番線・3番線ホーム）

北越谷駅（3番線ホーム※設置済み）

東上線：池袋駅（1番線ホーム※設置済み）

朝霞駅（1番線ホーム※設置済み）

川越駅（2番線ホーム※設置済み）

2022年度以降も、ホームドアの整備駅を中心に、お客さまのご利用状況を踏まえ、更なる拡充を進めてまいります。

2 実施状況



△くし状ゴム

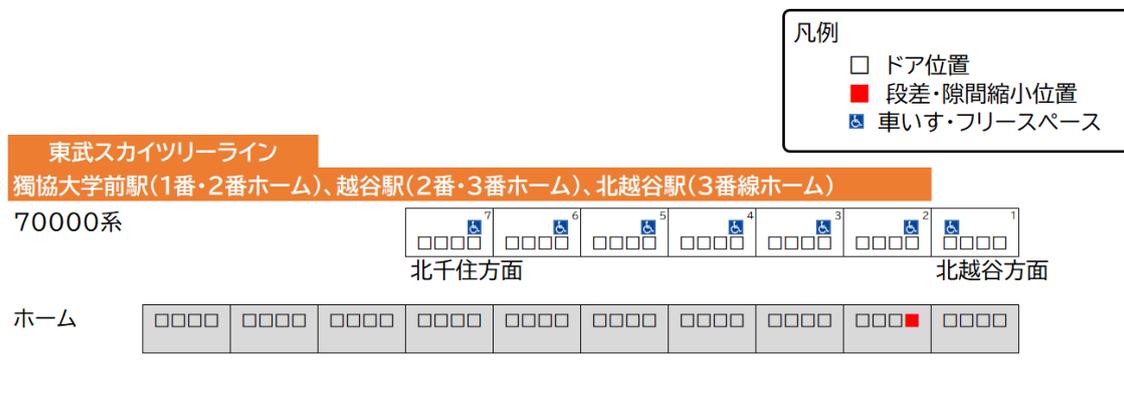


△くし状ゴム設置状況



△案内掲示設置状況

(1) 各駅の段差・隙間を縮小する位置と各車両の車いす・フリースペース設置位置



(2) 車両の車いす・フリースペースの設置

車いすやベビーカーをご利用されるお客さまのために、車両への車いす・フリースペースの設置を進めており、6 6 6 両に設置しています。(2021年3月現在)



△車両の車いす・フリースペース